

第1回 稲城市地域公共交通検討協議会

日時：平成24年8月17日(金) 午前10時00分～

場所：市役所 庁舎4階 議会会議室

1. 市側挨拶

2. 委員の紹介

3. 会長・会長代理の決定

会長に首都大学東京教授伊藤氏、会長代理に市民代表軽部氏を決定した。

4. 議 題

(1) 検討協議会における検討事項とスケジュール

※資料に基づき検討事項、スケジュールについて説明

質疑応答

Q：協議するにあたり、稲城市のコミュニティバス、交通空白地帯や交通不便地域の定義について、位置づけたほうがよいのでは

A：次回までに事務局で検討する

Q：iバスの23年度運行補助金について、いくら支出したのか

A：昨年度の運行補助金については18,591千円を支出している

(2) 市内の都市基盤整備の進捗状況

※資料に基づき、稲城市施行及び組合施行の土地区画整理整備について説明

質疑応答

特になし

(3) 市内公共バス等の現状

※資料に基づき市内の公共バス網について説明

質疑応答

Q：駅前ロータリーが整備されたら、南多摩・稲城長沼駅にもバスは乗り入れることはできるか

A：乗り入れるか否かを含めて、この会で検討していく

Q：区画整理地区の予想人口について

A：資料に基づき説明

(4) i バスの現状等

※資料に基づき i バスの現状、混雑区間などについて説明

質疑応答

Q：i バスの路線ごとの合計人数について

利用が少ない区間の図示について

時間帯ごとの利用状況について

(添付資料の図面の工夫はできないか)

A：配布資料図面の工夫について次回までに事務局で検討する

Q：はるひ野駅・栗平駅とも川崎市内だが、両駅に乗り入れた経緯は

A：平尾地域の方の利便性向上、市立病院への患者の誘致のため。また、上谷戸親水公園等公共施設へのアクセスのため

(5) 市内公共交通の充足について

※資料に基づき市内の交通空白地域について説明

質疑応答

Q：図面へ公共施設を表示できないか

A：次回までに事務局で検討する

Q：交通空白地帯について、バス停から、駅からの距離をどう定めているか

A：次回までに基準制定に向け事務局で検討する

Q：i バスの通れる道路、通れない道路を図示したらどうか

市内人口・高齢者の分布状況について

(添付資料の図面の工夫はできないか)

A：次回までに事務局で検討する

その他の質疑応答

Q：新車両導入に伴い、i バスの乗り降りの際、ガードレールや植栽等が有り乗降しづらいが、対応してもらえないか

A：速やかに対応する

以上